

校長室だより

【3月11日 東北関東大震災】

第54号

発行日 2011年 3月24日

発行者 桐光学園小学校長 斎藤滋

午後2時50分ごろ、「これまでになかった大きな揺れ」が学校を襲いました。そのときの学校は、6時間目の授業が終わって掃除の時間、低学年は帰りの会を終えて下校の準備、2年2組の子どもたちはすでにスクールバスで栗平駅に向っているという状況でした。全校児童に向けてのアナウンスをするために事務室にあるマイクを持った私の目には、校庭で遊んでいる1年生の姿と水が溢れる玄関の水槽が見えました。その様子を見ながら私がマイクを通して発した言葉は、「校庭にいる児童は校舎から離れなさい。校舎内にいる児童は落ちてくるものがあるかもしれないで頭を守って机などの下に入りなさい。トイレに入っている子はドアをあけなさい。」「もうすぐ揺れがおさまるので、そのあとで先生と一緒に校庭に避難します。」でした。しばらくしてから全員が校庭に集合し人数の確認、栗平駅にいた2年2組の子どもたちを駅から連れ帰り、徒歩で下校した児童数名以外は全員学校に集まることができました。子どもたちを教室に戻してから、保護者への連絡を始めましたが、すでに電話やメールはつながりにくくなっていました。「いもこじっ子」13・14ページにある「災害時の対応について」のBとCの状況の中間であると判断し、可能な範囲での家庭への連絡、保護者着校しだい児童の引渡しを行うこととし、夕方には非常食と仮眠用具の準備を進めました。保護者との連絡手段を電話とメールに頼っていたところに、ホームページなら見られるというご指摘をいただけたので早速そちらでも情報提供を始めました。その間にパソコンでホームページを見ることができる人は少なかったかもしれません、もっと早く対応するべきでした。また、ある程度時間が経過したところで、学校で待機している児童の氏名を一覧にしてホームページ上でお知らせした方がよかったです。また、学校まで子どもを迎えて来る事が困難である保護者も多かったはずなので、早い段階で当日のお迎えを断念し翌朝電車が運行するまで学校で預かるようにした方がよかったです。ただ、今回は学校が停電しなかったことで、パソコンの利用と校舎の暖房が可能でしたが、もしもそうでなかったとしたら、児童が待機する場所は小学校ではなく学園の20周年記念館などになる可能性もあり、学校と保護者間の連絡の取り合いはさらに困難になっていたであろうということが予想されます。児童の安全確保、保護者との連絡、非常食の準備の際のアレルギーの児童への配慮など、今回の震災から学んだことを今後に活かすことができるよう努めたいと考えます。なお、何人かの保護者から「学校に残ってお手伝いしましょか。」と言っていただいたときはとても嬉しく思いました。今回は地震発生から16時間で児童全員が帰宅できましたが、交通機関が全く機能しなくなるような地震が発生した際には、数日間児童が学校で保護者の迎えを待つこともありますので、可能な範囲での保護者のご協力をいただかなければならないと思います。

【23年度に向けて】

10期生66名が卒業しました。今年は震災の影響を考慮し卒業式を中止し、個別に卒業証書を渡すことになりました。間もなく22年度の終わりを迎えますが、同時に平成23年度の準備が始まります。今回の大地震のような災害のときだけでなく、児童の安全について様々な場面で考えていくことが求められることは言うまでもありませんが、児童が楽しく快適に過ごせる環境作りをすることも大切です。以下に来年度に向けて準備する環境整備内容とお知らせを書かせていただきます。

●施設の改善

①図書コーナー（2階）に畳のコーナーを作ります。（5月中旬完成予定）

児童が自由に楽しく読書をしたり、多目的に使用したりすることができる場とします。図書コーナーの約半分のスペースを畳にし、まわりには本棚、掲示板を設置し、照明も読書に適したレベルを確保します。

②トイレの便器をウォシュレットタイプに変更します。（春休み中の工事）

2・3階のトイレの便器を交換し、児童が快適に使用できるようにします。各トイレには和式便器が1ヶ所ずつ設置してありますが、今回の工事ではそのまま残すことにし、今後様子を見て変更するかどうかを検討します。

③女子棟から小学校駐車場を経由してテニスコート前までの歩道を作ることで、歩行者の安全を確保とともに、ドライバーにとっても見通しがよくなるようにします。この工事で小学校前の駐車場も広げたいと考えています。（夏までに完成予定）

●お知らせ

①土曜特別活動について

低学年向けに実施してきた制作活動の他に、児童と保護者が一緒に楽しめるような活動を準備します。詳細は新年度になってからお知らせします。

②懇親会について

学級懇談会の後に懇親会を実施することがあります。これまでの様子を見ていると、児童と保護者が一緒に楽しむ会というのがその実態のようです。今後は、懇親会を保護者と教員がいろいろなテーマを持ち寄り意見交換をする会とし、その実施のために教員と代議員さんが事前に準備をすることとします。